

～ 指揮者としても活躍する名演奏家、マリオ・ブルネロとMCOが初共演！～ 「水戸室内管弦楽団 第114回定期演奏会」開催のお知らせ

かつて、吉田秀和水戸芸術館初代館長が、新世代の注目すべきチェリストの一人としてその名を挙げたマリオ・ブルネロ。以来ソリストとして華々しく活躍する一方で、近年は指揮者としても才覚を発揮しています。そんなブルネロが、水戸室内管弦楽団（MCO）との初共演に選んだのは、ハイドン、ヴァインベルク、シューマンという意欲的なプログラムです。

ヴァインベルクは、ユダヤ系ポーランド人であることで迫害を受けソヴィエトへ亡命し、苦難の生涯を送った作曲家です。今日、再評価が進むこの作曲家の作品にMCOが初めて挑みます。

演奏会の幕開けは、交響曲の父・ハイドンの傑作のひとつで、トランペットと打楽器群の華やかな活躍が印象的な交響曲第100番〈軍隊〉。そして、美しいチェロの旋律がエレジーのように響くシューマンのチェロ協奏曲がフィナーレを飾ります。

ブルネロとMCOの名手たちがお届けする演奏会を、ぜひ貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

水戸室内管弦楽団 第114回定期演奏会

2024年10月26日(土)、27日(日) 両日14:30開場・15:00開演

【会場】水戸芸術館コンサートホールATM

【指揮・チェロ独奏】マリオ・ブルネロ

【曲目】

ハイドン：交響曲 第100番 ト長調 Hob. I-100 〈軍隊〉
ヴァインベルク：チェロ・コンチェルティーノ ハ短調 作品43bis
ヴァインベルク：シンフォニエッタ 第2番 ト短調 作品74
シューマン：チェロ協奏曲 イ短調 作品129

【料金】全席指定／S席8,000円、A席6,500円、
B席5,000円、U-25（25歳以下）2,500円

《チケット取り扱い》 好評発売中

水戸芸術館（9:30～18:00／月曜休館）

[窓口] エントランスホール内チケットカウンター

[電話] チケット予約センター Tel.029-231-8000

[WEB] <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>



マリオ・ブルネロ

©Gianni Rizzotti

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

【お問合せ】企画について：水戸芸術館音楽部門（担当：根本）Tel.029-227-8118
ご掲載について：水戸芸術館広報係（担当：井坂、川崎）Tel.029-227-8111
E-mail. kouhou@arttowermito.or.jp
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>

マリオ・ブルネロ

指揮・チェロ独奏

イタリアのチェロ奏者マリオ・ブルネロは、自由な表現で聴衆を魅了する、世界的な名演奏家である。ソリストとして、室内楽奏者として、また、プロジェクトディレクターとしても才能を発揮し、グラモフォン誌はその「素晴らしい精神力」を称え、ザ・ストラド



©Gianni Rizzotti

誌は「激しく情熱的」と表現している。1986年、チャイコフスキー国際コンクールでイタリア人として初めて優勝し、一躍脚光を浴びた。この優勝を機に、ムーティ、小澤征爾、パツパーノ、ゲルギエフ、シャイー、コープマン、チョン・ミョンフンといった偉大な指揮者と共演し、世界一流オーケストラから常にソリストとして招かれている。室内楽奏者としても、クレーメル、バシュメット、アルゲリッチ、ルケシーニ、カルミニョーラ、ツィンマーマン、ファウスト、ポリーニ、ボロディン弦楽四重奏団と充実した活動を続けている。また、イタリアのアルテセラ音楽祭、並びに、ドロミテ音楽祭の制作・芸術監督を務め、質の高い音楽を提供している。使用楽器は、1600年代初頭に製作された「マッジーニ」。一方で、近年は17～18世紀の作曲家たちに親しまれていた4本の弦を持つ「ヴィオロンチェロ・ピッコロ」の再評価を推進しており、2019年秋には、このチェロ・ピッコロを使用して、バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ」のCDをリリース。この録音は、Arcanaレーベルとの協力による新たな「バッハ・ブルネロ・シリーズ」のスタートを飾るものとなり、同シリーズではヴァイオリンのための優れた作品をチェロ・ピッコロで演奏している。その他の録音も数多く、EGEAレーベルやドイツ・グラモフォンから多彩なアルバムをリリースしている。

指揮者としての活動も活発で、オーケストラ・ダルキ・イタリアーナを結成したほか、2002～04年にはパドヴァ歌劇場管弦楽団の音楽監督を務めた。また、クレメラータ・バルティカや紀尾井ホール室内管弦楽団も指揮している。